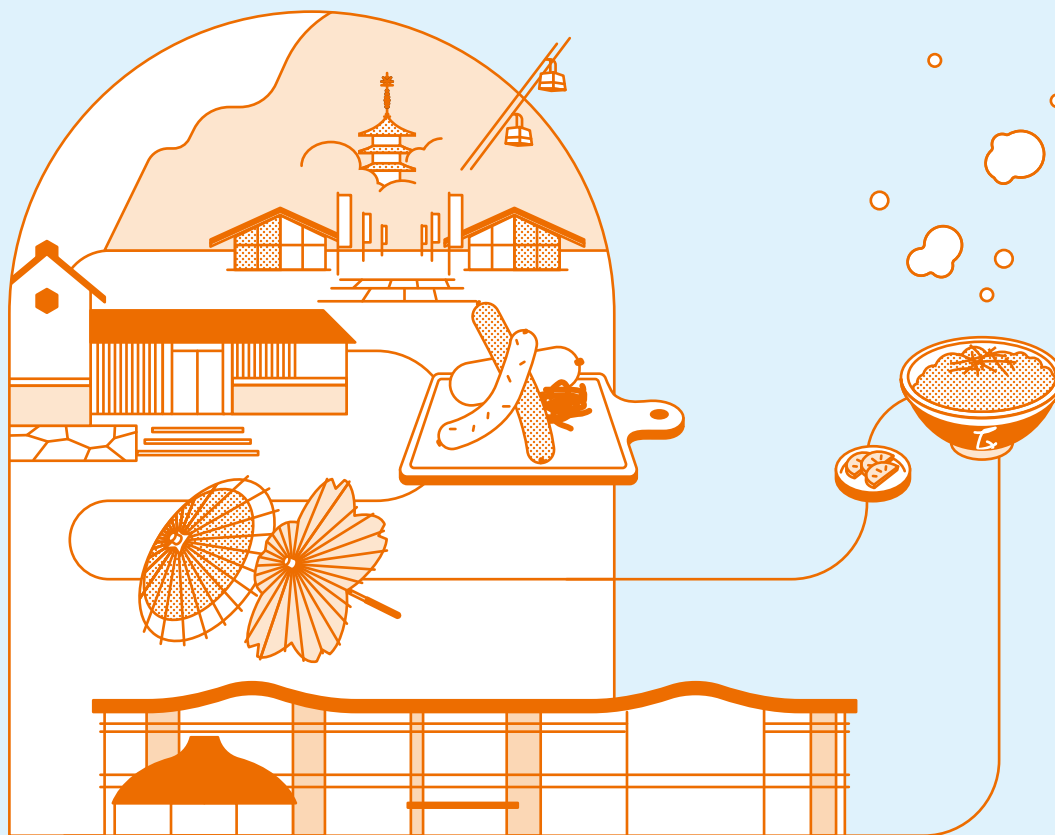


メディコス Medicos Bunkamichi 文化道

CONTENTS

メディコスWALK / わたしがまちを歩いたら。
岐阜カルチャー案内 / MEDICOS JOURNAL

VOL.
18



メディコス文化道とは？

みんなの森 ぎふメディアコスモスが発行する季刊紙として、2021年に創刊した「メディコス文化道」。メディコスを起点に人をつなぐ文化の道がまちへと広がってほしいと願って“文化道”と名付けました。この小さな冊子が、あなたとまちの文化が出逢う大きく広い窓となりますように。

これまでの文化道はこちらから！



MEDICOS PICK UP

多文化交流プラザ



岐阜市の国際交流・多文化共生を推進する中核的な場所として、オープンスペース「ワイワイサークル」を中心に、外国や日本の文化体験、日本語教室、日本人市民と外国人市民の交流イベントなどを開催。展示で世界各国・地域の紹介もしています。また、外国人市民の生活相談を多言語で実施。多様な国の人が集い、学び、活動するスペースです。



メディコス文化道 vol.18 (2026年3月発行)

発行 / みんなの森 ぎふメディアコスモス

編集・デザイン / さかだちブックス(株式会社リトルクリエイティブセンター)

[みんなの森 ぎふメディアコスモス]

〒500-8076 岐阜市司町40-5

TEL.058-265-4101

<https://g-mediacosmos.jp/>



Instagram



シビックプラウド
プレイスHP



みんなの森
GIFU MEDIA COSMOS

MEDICOS JOURNAL

2026
SPRING

メディコス
ジャーナル

メディコスの
イベント、取り組み
イロイロ紹介！

特集

シビックプライドプレイスの
スポット情報をWEBサイトでも公開！



上:コクーンと呼ばれるドームが連なる「シビックプライドプレイス」。
右:オリジナルマップのダウンロードも可能。

みんなで作る、岐阜の 過去・現在・未来をつなぐ拠点

2022年3月にオープンした「シビックプライドプレイス」通称「ぎふ古今」は、岐阜の歴史・ひと・文化の魅力を集めた情報発信拠点。「ぎふ歴史ギャラリー」では、江戸時代～現在までの地図や昔の貴重な写真を見ることができ、岐阜に関する書籍が並ぶ「セレクトブックシェルフ」では、岐阜の偉人や現在岐阜で活躍する人を紹介する「岐阜な人カード」も配布しています。「まち歩きステーション」は、岐阜

市内の250以上のスポット情報をテーマやエリアで検索でき、好きなスポットを選んでオリジナルマップの作成もできます。市民ライターが取材したスポット情報が随時更新され、みんなで編集する「余白」があることも特徴です。さらに、2026年3月中旬から、このスポット情報をWEBサイトでも公開しています。ぜひ、岐阜のまち歩きにご活用ください！

まち歩きスポット情報の
WEBサイトはこちら！



250以上のスポット情報を
WEBサイトでも閲覧・検索が可能に！

これまで「シビックプライドプレイス」の端末で公開されていた情報のうち、「まち歩きステーション」のスポット情報が、WEBサイトでも閲覧できるようになりました！歴史ある史跡から、通いたくなる飲食店やショップ、知る人ぞ知る珍名所まで、岐阜の魅力を深掘りする多彩な情報が満載。スポットは随時更新され、テーマやエリアでの検索も可能です。ぜひスマートフォンやパソコンからご覧ください。



※画像はイメージです

「メディコス編集講座」修了生がスポットを取材して紹介！

「まち歩きステーション」のスポット情報は、「メディコス編集講座」の修了生も取材・執筆を担当しています。2025年秋に開催された「メディコス編集講座 第5期」の最終講義では、4グループに分かれて実際に取材を实践。飲食店で料理を味わったり、店づくりの想いを聞いたり取材をした後、限られた文字数でスポットの魅力伝える難しさに苦労しながら、協力して紹介文をまとめました。修了生によるスポット情報は今後もどんどん増えますので、ぜひチェックしてくださいね。



第5期生が作成したスポット情報は、
まち歩きステーションやWEBサイトで続々と公開中！

特集 02

新春を彩る お正月イベントを 今年も開催!

2026年1月4・5日に毎年恒例のお正月イベントを開催しました。今年もミナモの虻凧や精華中学校の生徒が制作した大きな虻凧、鏡島小学校の児童が手がけた連凧が展示され、館内は新春らしい雰囲気。4日は開館と同時に箏(こ)の演奏会が催され、来館者は優雅な音色に耳を傾けました。午後は凧作りワークショップが行われ、自ら作った凧を広場で力いっぱい飛ばす家族連れの姿が多く

見られました。5日は市民活動団体「楽笑会」の桂川澄枝さんを講師に「己書(おのれしょ)で干支を書く」を開催。「己書」とは、書き順やルールにとらわれずに書く味のある文字や絵のこと。参加した子どもたちは自由な発想でのびのびと筆ペンを動かし、今年の干支の「馬」を書き上げます。仕上げに朱色で「日の出」を描き、金粉をあしらうとカレンダーや扇が完成。子どもたちは達成感に溢れた表情を見せました。そのほかにも、今年の抱負を展示するコーナーやメディコス公式キャラ「モーリー」を作る折り紙など、お正月らしい企画が行われ、メディコスは賑やかに年の始まりを迎えました。



左上:着物姿での箏の演奏で一層新年らしい雰囲気に。
右上:自分で絵を描いた凧が空に舞い上がりました。
右下:まだ字を習っていない小さな子どもたちも、大胆な筆遣いで思い思いの「己書」を制作。

特集 03

石田意志雄さんと 石でぎふをつくろう!



2026年2月7日、小さな石をペイントするワークショップ「石田意志雄さんと石でぎふをつくろう!」が開催されました。講師の石田さんは、石に絵を描く「石形(いしぎょう)」を手掛けるなど、ユニークな活動に取り組む岐阜市在住のイラストレーター。参加者は、これまで数千個の作品を作ってきたという石田さんの「いろん

な方向から見つめて、石の声を聞いてみましょう」というアドバイスを聞いてイメージを膨らませながら、まずはメディコス西側のピオトープで小石を拾い集めます。その後、それぞれが思う“岐阜”を石にペイントすると、見事に石が金華山、岐阜城、鮎、鶺鴒の鶺などへと変身!新たな視点で岐阜の魅力を再発見するイベントとなりました。



インタビュー INTERVIEW

市民活動団体が多数活躍中!

岐阜市では、「岐阜市市民活動団体登録制度」を設け、登録団体の情報をメディコスのホームページや館内モニターで紹介するほか、市民活動交流センターが主催する事業の案内や会報紙の提供などを通して活動を支援しています。また、館内には事務所として活用できるブースも8区画(有料)あります。今回は市民活動交流センターの大石安純さんにお話を伺いました!

活動する団体同士のつながりが広がり、 刺激合って活動しています!

メディコスのオープン当初は約30団体だった登録団体数が、2026年1月には340団体を超えました!開館から10年を迎えた現在も、多様で充実した市民活動が日々増え続けていて、市民活動交流センターも積極的にその取り組みを支援しています。イベントや交流を通して団体同士のつながりも広がり、お互いに刺激を受けて楽しそうに活動している様子がとても印象的です。岐阜市を拠点に活動し、まだ制度に登録していない団体
市民活動交流センター
大石安純さん



メディコス WALK

メディコスからはいまも、
小さな発見の旅。

2015年
オープン

多文化交流プラザ



日本三大仏の一つ、
山崎大仏を参考。



岐阜市ぎふ魅力づくり推進部国際課と公益財団法人岐阜市国際交流協会が運営し、国際交流や多文化共生に関わるイベントや講座、展示を数多く行っている。外国人生活相談窓口では、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語などの多言語で対応。

岐阜市司町40-5
TEL.058-263-1741
<https://g-mediacosmos.jp/tabunka/>

メディコスから岐阜公園へ
まずは老舗食堂で腹ごしらえ

メディコスの北エントランス付近にある「多文化交流プラザ」は、岐阜市の人口の約3%にあたる外国人市民が、生活で困ったときにまず訪れる相談窓口。オープンスペース「ワイワイサークル」では、英語や中国語で会話を楽しむイベントや、いろいろな国や地域の文化を知るイベントなどが開催され、誰でも気軽に交流に参加できます。カウンターでは興味深い外国の資料や本、パネルなどを展示していました。メディコスを出て長良橋通りを20分ほど歩き、正法寺で「岐阜大仏」に手を合わせた後、「東亭」に到着。修業先の店を継いで3代目となった父を手伝ううちに、自身も4代目としてこの食堂を守ることに決めたという店主。品書きには種類や丼ものが並びます。一番



明治20年代から130年ほど続く大衆食堂。当初は東向かいで開業し、後に現在の場所に移転した。3代目から建物の2階で営業。今は4代目の村井行雄さんが夫婦で店を守る。
岐阜市今町3-18
11:30~14:00、17:00~19:30 (土曜は11:00~)
日曜定休
TEL.058-263-3079

1890年頃
創業

東亭

ドイツデリカテッセン クリンゲン

2016年
オープン

本場ドイツの製法に基づいて丁寧に手作りするソーセージやハム、ベーコンをはじめ、パテやテリーヌ、ザワークラウトなどの惣菜も揃う市内唯一のデリカテッセン。

岐阜市西材木町26
10:30~18:00 火曜定休、不定休あり
TEL.058-263-0506



専門店にふらっと
立ち寄れ、しあわせ。

人気の「カツ丼」は、揚げたてのサクッととしたカツをとろとろの卵で閉じ、刻み海苔をはらり。「シンプルだけど、一杯美味しくて、と思って作ってます」。醤油が立つやや辛めのつゆに、なおさら食欲がわきました。

こんな素敵な店や場所がある
岐阜のまちが誇らしくなる

『ドイツデリカテッセン クリンゲン』を営む野村吉央さんは、35歳で脱サラし、次城県でドイツ食肉マイスターの資格を持つ師匠のもと5年ほど修業した後、地元で開業。ショーケースには丸々とした塊のハムや初めて聞く名前のソーセージもずらり。新鮮な岐阜県産の豚肉を使い、すべて本場ドイツの製法で手作りしていると聞き、つい、あれもこれもと買い求めました。続いて、川原町エリアに昨年オープンした「CASA stella」へ。1階にある

CASA stella

2025年
オープン

築100年を超える元和紙原料問屋の「松井邸」をリノベーションした建物に、岐阜和傘や岐阜提灯の展示販売、レトロ着物のレンタル、冷したぬきそばの専門店などが入る新たな文化観光施設。

岐阜市玉井町6
11:00~17:00 (鶏飼シーズンは~18:00)
水・木曜定休
TEL.090-8335-9759 (和傘CASA)



岐阜公園の新名所、
岐阜城染守。



岐阜公園内にある岐阜市歴史博物館の分館で、岐阜市美殿町出身の兄弟日本画家、加藤栄三・東一両氏の作品を収蔵、展示。自然と調和する土蔵風建物の設計は吉村順三氏。

岐阜市大宮町1-46 岐阜公園内
9:00~17:00 月曜休館
TEL.058-264-6410

加藤栄三・東一 記念美術館

1991年
開館

来館記念の
ポストカードを。

「和傘CASA」は、全国唯一の岐阜和傘専門店。一本一本、竹の骨組みや和紙糸かがり、細部にまで職人の手しごとが宿った和傘は、ため息がでるほどの美しさ。2階には岐阜提灯と彫刻家のイサム・ノグチ氏との出会いから誕生した数々の「ANSARU」が篝火をイメージして展示され、その幻想的な灯りの世界にうっとり見入りました。最後は金華山の麓、岐阜公園内に飲食店や土産物屋が立ち並び「岐阜城染守」を散策しながら、「加藤栄三・東一記念美術館」に向かいます。ロープウェイのりばの北にひっそりと建つこの小さな美術館では、岐阜市出身の兄弟画家、加藤栄三・東一両氏が描いた素描3500点ほどと本画200点ほどを収蔵し、展示。岐阜の鶏飼を二人がそれぞれ優美な筆致で描いた作品に、

わが故郷の伝統文化の素晴らしさを改めて感じたのでした。

メディアコス WALK

MAP

VOL.
03

- 長良川国際会議場
- 長良川公園
- 都ホテル 岐阜長良川

長良橋

鶺鴒観覧船乗り場

岐阜市鶺鴒観覧船造船所

CASA stella

加藤栄三・東一
記念美術館

はちみつ専門店 秋田屋

ドイツデリカテッセン
クリンゲン

金津橋

岐阜市立岐阜小学校

東亭

岐阜大仏(正法寺)

長良橋通り

ぎふ金華山
ロープウェー

岐阜善光寺

伊奈波神社

●みんなの森
ぎふメディアコスモス

●岐阜市役所

●美江寺公園

長良橋通り

●鶺鴒谷中学・高等学校

鶺鴒谷公園

Google Mapsでも
地図を公開中!



このコラムでは、メディコス編集講座修了生が
岐阜市の魅力的なスポット取材しています！

わたしがまちを歩いたら。

岐阜市鵜飼観覧船造船所



岐阜市湊町391
見学（無料）※年末年始を除く
9:00～15:00（5/11～10/15は10:00～）
（詳細は下記へお問い合わせ）
TEL.058-262-0104（鵜飼観覧船事務所）

千年以上続く長良川鵜飼の観覧船を建造する「岐阜市鵜飼観覧船造船所」を見学。一隻の船が美しい船尾をにゅつとこちらに突き出して待っていた。驚くことにこの造船所には設計図がない。「先輩の技を横で見ながら覚えた。図面がないから寸法に迷った時は川まで行って船を計ってくる」と話すのは棟梁の田中利治さん。受け継いで

きた技術と船大工たちの木の質を見極める勘によって船は作り上げられていく。使用するのは「ウヤマキ」という木で、「水に強くて軽い。長良川の水に合っている」という。「反りをかける」「生くぎを打つ」、初めて聞く言葉ばかりだったが、その技術の深さを感じることができた。今年の鵜飼はぜひ船に乗って堪能したい。

はちみつ専門店 秋田屋



岐阜市大宮町1 岐阜城案内
10:00～17:00 水曜定休
TEL.058-214-3383
@akitaya_gifu

1804年創業の老舗養蜂問屋「秋田屋本店」が、「岐阜の地で創業した当社だからこそ、食を通じて地域に貢献したい」との思いから、2025年4月、金華山の麓にオープンした「岐阜城案内」内に初めて出店した「はちみつ専門店 秋田屋」。多彩なはちみつ商品が揃う中、店長・遠藤さんおすすめめのソフトクリームに「百花はちみつ」を

掛け合わせた店舗限定「コムハニー」付はちみつソフトクリームをチョイス。一本の糸のように注がれた金色のはちみつが、ソフトクリームとコムハニー（巣蜜）と絡み合い、それぞれに異なる甘さが三重奏を奏でているようです。今後ははちみつの個性と向き合い、素材を掛け合わせることで、どのような商品が誕生するのか楽しみです。

第2期修了生 小澤歩美さん



県外出身の私に「岐阜が好き!」と思わせてくれたのは長良川でした。今回の取材時に造っていた観覧船は、これから命名され、5月に進水式を迎えます。新高級観覧船とのことですが、いつか、この船に乗って大好きな長良川で鵜飼を楽しんでみたいです。

小澤さんが
編集講座で書いた
ブログはこちら



第1期修了生 石田基樹さん



取材前に調べておいた情報と下見を通して、事前に記事の構成を考え、さらに取材で得た新しい事実やエッセンスを加えて何度も練り上げていく… たった300文字なのに（笑）。つくづく書くと楽しく大変だなと感じました。

石田さんが
編集講座で書いた
ブログはこちら



岐阜カルチャー案内



読書会ファシリテーター
ゆかさん

私は北陸地方の出身で、2019年に家族で岐阜市に越してきました。大きな図書館の近くに住みたいと思っていたので、今はメディコスの近くに住んでいます。子どもの頃から祖父母や両親に読み聞かせをしてもらい、本に囲まれて過ごしてきました。読む本のジャンルはバラバラで、読んだ本からキーワードを拾い、関連する本を読んでいく感じです。たとえば、夏目漱石を読んだら、次は門下生の寺田寅彦の本を読むとか。夏目漱石を幹としてそこから枝葉を広げていくイメージです。同じ本を読み直すこともありますが、そのたびに感じるものが違う。それは、自分が変わったから。人間は食べたもので“体”がつくられると言います

本を読むことはその人の経験の一つとなって、“心”を育ててくれる。

が、読んだ本はその人の経験の一つになって、“心”を育てるんだと思います。十数年前からファシリテーターとして“読書会”を開いてきました。読書会では、みんなで同じ本を読んで感想をシェアしたり、テーマに合う本を持ち寄って紹介し合ったりします。岐阜市に来て、初めて夜のメディコスを見たときに「なんて美しいだろう！こんな場所で読書会を開きたい!」と思い、岐阜市立図書館の「ぎふライブラリークラブ」を活用して「page1読書会」を立ち上げました。自分が感じたことを言語化するのって難しいですが、完全な言葉じゃなくても大丈夫。感情を自由に話したり、聞いたり。読書会で対話を通して、新しい発見をしてもらえたらと思っています。



読書会ファシリテーター ゆか

2023年7月から夜のメディコスで月1回開催している「page1読書会」をはじめ、岐阜を中心に、町家や宿、屋外のこたつ、喫茶店などで読書会を開き、対話を楽しんでいる。

@yuka_open_book



Instagram



アノ人に聞いてみた、 本とアートの話。

美術は“生きる力”。
もっと社会に美術を
広げていきたい。

Lucca445 代表
加藤誉使子さん



幼少期から絵画教室に通い、ずっと絵を描いてきました。高校の進路選択で、興味があった食と哲学と美術のどの道を選ろうなという直感があって、東京造形大学に進学しました。大学で“描写”ではなく“表現”することを学び、人が心の中に抱える複雑な思いや、生きる日々の中で持つエネルギーを、作品で“見える化”したいと考えました。作品は、形のないものや目に見えないものを造形化、可視化して、見た人が共感したり、自分を見つけたりする装置でありたいと思ったんですね。学生時代に影響を受けた現代美術家はジョナサン・ポロフスキーで、1987年に東京都美術館で開かれていた展覧会で、「作品+観る人+場」によ

て空間が生まれ、それが作品になるんだ、と衝撃を受けて。今も彼の著書「夢をみた」は大切に読んでいます。大学卒業後は、岐阜県内の高校で美術科教諭として28年間勤務していましたが、「もっと美術を社会に広げていきたい」と思い、早期退職して、2017年に柳ヶ瀬にギャラリー兼アトリエ「Lucca445」をオープンしました。2021年からは、毎年11月に商店街やカフェ、ショップ、公園など、日常の中で目に触れる場所をアーティストの発表の場にするイベント「ART LIFE GIFU」を開催しています。美術には、まさに今の社会で求められる“生きる力”があって、すべての人にとって絶対必要なだと、信じているんです。



ルッカ ヨンヨンゴ
Lucca445

岐阜市日ノ出町1-20 ロイヤル劇場ビル2F
金・土・日曜の13:00~17:00
※月~木曜は予約制
@lucca445art



Instagram